

港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

HP <https://kohoku-saibora.jimdo.com> FB 港北区災害ボランティア連絡会

第 57 号

2017 年 9 月



* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

最近の異常気象を考える

—鳥山、大曽根台地区に避難勧告出る—

最近の雨の降り方は異常です。明らかに地球温暖化によるものでしょう。パキスタンでは5月53.5度の気温を観測したり、ノルウェーではこの夏70日間雨が降り続いたりといった現象が起きています。地球は全体でバランスを取ろうとする働きが有るそうですから、どこかが降ればどこかは早魃となるようです。その結果日本でも一時間に100mmを越える豪雨すら珍しくなくなってきました。

記録的短時間大雨情報が多発される

8月30日には練馬区で100mmの降雨があり、新座市では救助者一名、行方不明一名の事故が発生しています。海老名市でも8月1日に1時間120mmの豪雨が降ったそうですが、県の雨量計だったため気象庁の把握が遅れ、発表に至らなかったそうです。この量の降雨になると息苦しさから恐怖心さえ感じるほどだそうです。7月の雨では港区内でも土砂災害警戒警報に寄る避難勧告が出ました。鳥山地区と大曽根台地区です。以前

に矢上地区で実際に崖崩れも発生しています。そのような状況を踏まえ横浜市でも洪水ハザードマップを改訂しています。(H29年6月)区内では新羽地区で最大浸水予測が5mとなる大きな被害が予想されるとしています。

ゲリラ豪雨は区内も油断できない

今までは日産スタジアム周辺の鶴見川遊水池が機能して浸水地域が出ることは有りませんでした。内水氾濫や区内にも多い急傾斜地の崖崩れには油断が禁物です。大雨の際の避難については、この間の北九州水害などでも指摘されているように早め早めの行動が肝心です。その際の警報の種類には以下のようなものが有ります。危険性が高い地域のご家庭は避難情報の出方を示す下記の表を張っておくくらいの備えをして欲しいものです。特に避難行動が困難な方がいる場合にはその方と事前に逃げる訓練をするくらいの供えが必要だと痛感します。(宇田川)



(日産スタジアム周辺を覆う鶴見川からの水)



新羽地区の一部の堤防が低く設定されており、そこからあえて水を溢れさせて遊水池に導き洪水を防ぐ

避難情報	危険度	取るべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	災害による人的被害の発生する可能性が高まった状況	お年寄り、子ども、障害のある人、病気の人など、避難に時間を要する方は、早めに自主的に避難行動を開始してください。 避難を支援する方も、支援行動を開始してください。
避難勧告	災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	避難所などへ避難行動を開始してください。 避難所への避難が困難な場合は、建物の2階以上（斜面と反対側の部屋）に緊急的に避難しましょう。
避難指示（緊急）	切迫した状況であり、災害による人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況	避難所などへ直ちに避難してください。 避難所への避難が困難な場合は、建物の2階以上（斜面と反対側の部屋）に緊急的に避難しましょう。
屋内待避等安全確保措置指示	災害が発生した場合や、更に災害の発生が切迫していて、屋外で移動することが危険な状況	建物2階以上の安全を確保できる高い場所へ直ちに避難してください。 大雨等により既に浸水が始まっており、足元が見えない等の状況の場合など、状況によっては、あらかじめ指定した避難施設等の屋外に避難することで、かえって危険が及ぶ恐れがあります。 状況に応じて自宅等の屋内や近隣の建物の2階以上に避難して、安全を確保してください。

そして誤解を生む恐れが有るとして避難準備情報などの言葉も以下のように変わりました。

新	旧
「避難準備・高齢者等避難開始」	「避難準備情報」
「避難指示（緊急）」	「避難指示」

ボランティア頼みだけでは解決できない

水害被害の厄介さは津波被害と同じで家中の全てに水が入り、使い物にならなくなることで。そして床下に溜まった汚泥の除去の大変さと、その後の乾燥に至る時間の長さです。私たちは常総市の被災地とのお付き合いを重ねて来ていますが、頻発する水害被害をよそ事とせず、区内でも起きるものとして啓発や対策をすすめて行くことが必要ですね。殆どの家庭は一階に台所、トイレ、風呂といった日常生活に必須の機能が有りますが、水害ではそれらが全て使えなくなってしまいます。床下の汚泥を除去すればすぐに住めるものでは有りません。

北九州豪雨では山間地故の大量の流木被害が出ました。あれだけの量を撤去し、各家庭の床下の汚泥を除去するにはボランティアの手だけでは

無理です。自衛隊の災害派遣にも限界があります。災害救援組織を国が備える必要が有る時代になって来たと思います。（宇田川）



山津波で埋まった家屋（日田市）

失語症の方の災害時の備え

7月9日、失語症会話パートナーの会[港]公開講座「失語症の方の災害時の備え」を聴講しました。講師はかながわ女性防災事務局長で[港]代表の大尾美登里さんです。失語症とは、脳卒中や事故によって脳の言語野が損傷を受けたため、言語能力に障がいが残った状態をいいます。ここでは講演後のメールでの問合せ内容を交え、支援者への情報と失語症者と家族への情報に分けて報告します。

支援者への情報：失語症の方は災害直後の雑然とした中、状況や情報の理解が難しいのに、理解や納得ができていられると思われがちです。また、困り事や必要な支援を周囲に伝えることが難しいです。このため、声かけやメモによる意思確認は必須です。そのとき「ゆっくり、はっきり、一つずつ」は大切なポイントになります。また、日頃から失語症に限らず、地域の災害弱者を知っておくことも大事です。

失語症者と家族への情報：どれも平時から用意しておくものです。

(1) 意思伝達ツール：横浜市のコミュニケーション

ンボード（ネット上にある）に加え、本人が必要と思う事柄（例えば、家族情報や食べたい物／食べられない物、必要な支援）を手のひらサイズくらいのカードに書いておく。

(2) 携帯のメールと録音：災害時に必要になりそうな言葉や文をあらかじめ打ち込んだり、録音しておき、必要となった時に提示する。これは平時にも応用できるので、日頃から練習しておくとう便利。

(3) 地元と遠方に支援者を作っておく：地元については、平時からイベントや防災訓練に参加するなどして、地元の方々を知るとともに自分を知ってもらう。遠方支援者については、困り事や要望を自治体や支援団体等に直接伝えるのが難しいとき、メールやSNSで遠方支援者を經由して伝えることで、自治体が避難所に指示したり、団体等が支援できたりします。

最後に大事なこと

「障がいがあっても支援者になれます」

（横浜北部失語症友の会：室伏俊明）

常総市で鬼怒川花火大会を楽しむ

8月11日、Juntosの横田さんや松下町の染谷さんからお誘いを頂き、今年も常総市で鬼怒川花火大会を楽しみました。筑波エクスプレスや関東鉄道と云った普段はあまり縁のない路線を楽しみながら着いた常総市でした。横田さんご夫妻や染谷さんの心づくしの歓待で、一皆さん楽しむことが出来たようです。ありがとうございます。

来年はもっと多くの仲間と訪問しましょう。

参加者からの一言

- * ホント行って良かった。大賑わいでしたが、美しい花火と観覧されていた方々も穏やか、おおらかで心洗われました。
- * Juntosの横田さんのご厚意で見やすい席を用意していただき、本当に素晴らしかったです。これも皆さんとの「つながり」の賜物でしょうか。皆さんにも参加していただきたかったです。
- * 常総市は被災地と云うイメージが有りますが、実は歴史のある素晴らしい街です。今回の訪問でそのことを新たに認識しました。



■ 10月定例会のお知らせ ■

10月の定例会は 夜間開催です。

10月18日 (水) 18:30~

普段お仕事で参加できない会員の皆さん、ぜひ参加してください。

小松さんちの防災対策

有り難い事に大災害に未だ遭遇せずに過ごしてきました。我が家の防災意識、常にあるかという
と家族全員今一つの近頃と、原稿書きながら反省もしています。

何を何処に備えるかという点では、もしもの場合
合思考が働かないと思い、ラジオとハンドライト、
笛は各部屋のリモコン置場の近くであるとか、自然に手が届く場所心がけています。

主な物を取り上げますと

玄関、ベランダ、自家用車に大きめの電池式ラン
タンと飲料水、ころ付きのキャリーバッグに簡
単な工具や、軍手、ロープ、ガムテープ、油性マ
ジック、大小のポリ袋、我が家の備え袋、大きめ
のピクニックシート、簡易トイレ。ガラス類が散
乱した場合に使える様、ほうきとハンディ掃除機
も一緒に置いています。

家人其々の個室に、折りたたみヘルメット、水
ライト、ホイッスル、サバイバルシート、カロリ
ーメイト、マスク踏み抜き対策スリッパ等を入
れた、非常持ち出し用のリュック。

家の中の離れた2か所に飲用水の箱入りと、タ
オルや家族分の着替え、日用品を入れた第2次非
常持ち出しスーツケースと食料。箱ではなく避難
時用にスーツケースにしました。

食料は台所に日常使いと兼ねる保存食、リビング
のソファ収納部、各部屋の書棚などにレスキュー
食、アルファ化米等を収納しています。
調理熱源として用意してあるものはカセットコン
ロ、IHヒーター、キャンプ用品です。

今後は備蓄品を使いこなす為の収納技術をスキル
アップ必要と思っています。(小松尚子)



備えあれば憂い少なし

この間の連載で災ボラ会員家庭の取り組みが見
えて興味深かったと思います。災ボラ会員は発災
時にはボランティア活動が期待されている存在で
すから、そのためにも備えを充実させることは大
切です。その基本は、**死なない、怪我しない**備え
です。それが保証されている上で必要なものを必
要順に並べると、次のようになります。

- ①**出す**—最も深刻かつ悲惨な状態になる原因です。
トイレ処理剤かネコ砂とポリ袋、簡易組み立てト
イレと囲いが必要です。忘れがちなのがトイレッ
トペーパーの備蓄です。
- ②**飲む**—2L ボトルの備蓄が多いでしょうが、少々
高いですが、500ml のカートンを用意すると使い
勝手が良いと中島（一）さんの実践報告です。
- ③**休む**—アウトドア技術と実践経験で実力を高め
ておきましょう。車中泊も工夫次第でエコノミー
症候群を防ぐことが可能です。
- ④**入れる**—非常食ランチ、カロリーメイトと水だ
けで一日過ごしてみる、など自宅の備蓄品で実践
してみましょう。



全てが無くなった三月十一日のスーパー(横浜市)
カレーうどんにこだわりを持つ障害者の家庭は大
変だった

編集後記

☆夏休みで時間が充分あったと思いましたが、あつという間
の暑い毎日でした。(付岡)

☆おかしな動きをする台風、数キロ単位でのゲリラ豪雨、要
注意の異常気象現象です。(宇田川)

☆失語症について詳しく説明するスペースが無かったので、
ぜひネットで調べてみて下さい。(室伏)

☆「経験したことがない」災害がおきることが「日常」な
のだと思わなければいけないのかもしれない。何かの時はま
ず自分の命を守る心構えを持ちましょう。(中島)